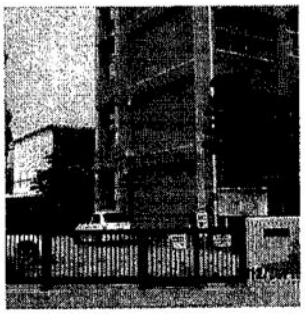
田迎小学校の歴史

平成二十五年四月に田迎小学校の分離校、田迎西小学校が開校されるが、田迎小学校の成り立ちや歴史について述べる事にする。

明治十四年、児童就学督貴規定発布があり、当時の学校では広く部内の児童を就学させる事ができないので戸長の西村正記氏が有志に図り五ヶ村（田迎、出仲間、田井島、良町、重富）の中央、八反田に学校を新築し、尋常麗水小学校と称し、明治十五年十二月十日、開校式を行った。



麗水という校名は、現在校庭にある井戸が古くから付近にある井戸の中で最も清冷なのに因んで、この地の一部を「冷水（ひやみず）」といっていたのを、冷は国音、麗に通じるので麗水という校名を付したものであるという。

明治十九年、小学校令が制定され、小学校を尋常科と高等科に分け、尋常科四年を義務教育とした。

明治二十六年、訓令により学校名をその所在地を付すことになり、田迎尋常小学校となる。

明治四十年三月、小学校令改正により義務教育年限六ヶ年となる。

大正八年四月、小学校令改正により、高等科を併設し、田迎尋常高等小学校と改称された。

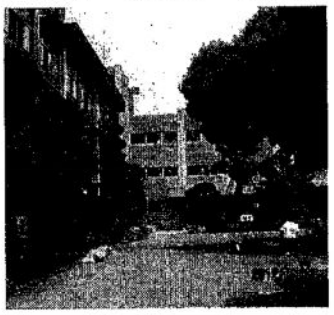
昭和七年四月、本村公民学校、熊本県立青年学校教員養成所代用付属となる。

昭和十六年三月、小学校令を廃止して国民学校令が公布され、飽託郡田迎国民学校となる。

昭和二十二年四月、教育基本法、学校教育法が公布され、義務教育九年となる。

校名が田迎村立田迎小学校となる。

昭和二十八年四月、熊本市に編入され熊本市田迎町となり、校名も熊本市立田迎小学校と改められる。



昭和三十七年、水泳用プール完成。

昭和四十七年、体育館完成。

昭和四十九年、創立百周年。

昭和五十八年四月、田迎南小学校新設に伴い、良町、田井島が南小学校校区となり、田迎小学校と分かれた。

平成十年七月、旧体育館を解体し、新体育館工事に入り、平成十一年十二月に完成した。新体育館はバレーコート二面、屋上プール七連の二十五メートルである。

平成十二年以後の田迎小は、児童数が年々増加して千名を越える事もあり、運動場や校舎周辺のあき地にプレハブ校舎まで造られて狭い運動場で窮屈な生活をした。今後は、新設校が開校される事によって、児童数も半減して、普通の小学校の状態に戻る事であろう。

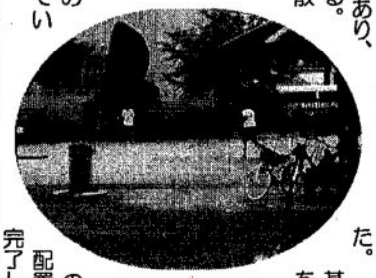
田迎の史跡めぐり

シリーズ㉗

田迎二丁目公園及び記念碑

この公園は熊本市南部第一土地区画整理組合の事業によって地区内に造成された多くの公園の一つであり、集会所も又その一つである。

平成四年三月、組合解散に伴い熊本市に移管された後、休憩所、遊具、手洗い所等が設置され、花まつりや盆踊り大会、子ども達の運動広場として、又集会所は、小規模の集会、研修、会議等に利用され、地域にとって随一の「ふれあいの場」となっている。



平成十一年四月、田迎花卉園芸生産組合総会において、組合創立二十周年記念事業として、蔬菜、花卉の施設園芸を開発された先代先人達の功績顕彰碑建立の件が満場一致で議決された。

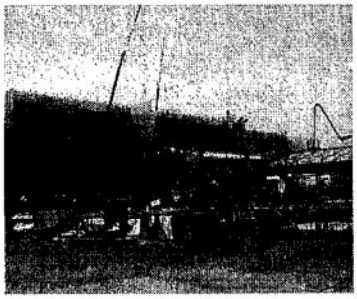
早速準備作業を進め、八月十一日の吉日を選んで、地鎮祭神事の後、工事着工となった。

基礎工事からタイムカプセル室を含む化粧石垣を完成し、いよいよ熊本市長三角保之氏揮毫の「蔬菜花卉施設園芸発祥之地」の石碑が関係者四十名が固唾を飲んで見守る中、平成十一年十月二十五日午前十一時、堂々たる記念碑が、雲一つない秋空の中に姿を現したのである。その後、抱き石等を配置して、二十七日全ての工事が完了し無事完成したものである。尚、除幕式、二〇五〇年に開くタイムカプセル入庫は平成十二年一月十七日の吉日に挙行された。

〈たむかえ散歩より〉

分離新設校建設の現況

工事現場の塀には、田迎小全児童による絵が印刷されて、通る人達の目を楽しませている。五月現在、新設校の工事は着々と進み、本校舎の概観が出来上がり、大きなクレーン車やタンクローリー車等の出入り激しく工事が盛んに行われているのを見る事が出来る。



田迎西小は、すばらしい校舎、体育館、プールに囲まれて、すばらしい学校になる様である。校舎の完成は来年一月予定であって、校舎引渡しは、二月末との事である。学校の校区割も出来た事だし、来年の四月にむけて、大いに楽しみを与えてくれている。

笑顔ピカピカ入学式

四月十一日(水)田迎小学校で入学式があり、新一年生が笑顔を輝かせて、学校生活のスタートを切りました。

田迎小学校では百五十七名が入学した。

当日はあいにくの雨の中であったが、RKKテレビ局の取材もあって、新一年生は、両親に手を引かれて、雨の中を校門を通り各教室に入っていった。

入学式には、熊本市長の幸山市長も来賓として出席されていた。

新一年生は、付き添いの先生に従って、元気良く体育館に入場した。入場の際は保護者の写真撮影のフラッシュの光の中を元気よく入場した。

保護者は、ほとんど御両親で、体育館の保護者席は満席の状態であった。

秋丸稔校長が「いのちを大切に」「わくわくさがしをする」「元気にあいさつをする」の三つの約束の話があり、引き続き幸山市長から「勉強や運動にがんばって、学校でわくわくさがしをしてください」と激励。

在校生の六年が劇式の歓迎の言葉で学校紹介をした。

新入生は教室に入り、配られた教科書や教材を一つ一つ確認して、うれしそうにしていた。

今回の入学式は、田迎小学校単独としては最後になり、半数の児童は田迎西小に行く事になる。

編集後記

◎新しい年度がはじまりました。公民館活動も、今年もがんばります。

◎田迎西小、着々と出来上がっています。子ども達の幸せを考えて、がんばりましょう。

◎先日、熊日にサラリーマン川柳が掲載されていました。その中から一句、「何気ない　暮しが何より　宝物」今年もお互いで、田迎をよい町にしましょう。